

記事内容

- ☆第18回地方委員会開催
- ☆小林会長挨拶（要旨）
- ☆第18回地方委員会フォト／新規加盟組織
- ☆退任役員の紹介
- ☆新任役員の紹介
- ☆第46回衆議院選挙連合埼玉推薦候補者
- ☆地協ブロック連絡会、市長・首長政策懇談会／もうすぐ選挙
- ☆12月の行動日程
- ☆あけぼのビル

第18回地方委員会開催

2013年度活動方針決定



会場の様子

11月21日（水）浦和ロイヤルパインズホテルにて連合埼玉第18回地方委員会を、地方委員・傍聴・来賓等、約170名の参加のもと開催した。

冒頭、主催者を代表し連合埼玉小林直哉会長より「東日本大震災からの復興・再生」に全力を挙げること、「雇用対策」「国政選挙の取り組み」などについての挨拶の後、本地方委員会に、初めて出席された連合古賀伸明会長より「1ヶ月をたった衆議院選挙に向け、今こそ力を結集しなければならない。たいへんな選挙戦になると思うが全国の連合の仲間とともに果敢に挑戦しましょう」と激励の挨拶をいただいた。

本地方委員会では、2013年度の活動計画・予算、役員の一部交代など全議案を満場一致で確認した。

また、来賓挨拶の中で、第46回衆議院選挙ならびに第23回参議院選挙の推薦候補者を紹介し、地方委員会の最後に、「地方委員会アピール」および「衆参議員選挙必勝決議」を採択し、終了した。

連合埼玉第18回地方委員会での報告事項及び議事内容

【各種報告】

- 1) 2012年度 活動経過報告
- 2) 2012年度 会計報告
- 3) 2012年度 会計監査報告
- 4) 特別報告
 - ① 2012年度「埼玉県労働委員会」報告
 - ② 2012年度「埼玉県地方最低賃金審議会」報告

【議事】

- 第1号議案 2013年度活動計画（案）について
- 第2号議案 2013年度 予算（案）について
- 第3号議案 役員の一部交代について

【必勝決議およびアピール】

- ・第23回参議院議員選挙・第46回衆議院議員選挙必勝決議（案）の採択について
- ・第18回地方委員会アピール（案）の採択について

連合埼玉第18回地方委員会 挨拶要旨

会長 小林 直哉

昨年11月、連合埼玉第12回定期大会において、宮本前会長の後を受け継ぎ、一年が経過しました。この間、ご支援・ご協力いただいた全ての皆様に感謝申し上げます。本地方委員会は2年間の運動方針をこの1年間どう実践してきたかを振り返り、向こう1年間の課題を確認することが主要議題となります。連合埼玉を取り巻く課題として6点についてお話ししたいと思います。

まず、「東日本大震災からの復興・再生」についてです。大震災から1年8ヶ月が経過した今日もなお、数多くの被災者が雇用の場を失って生活基盤を揺るがされ、加えて、今も30万人を超える人達が仮住まいを強いられているという現実にあります。

また、原子力発電所事故によって周辺地域に広がった放射能汚染もいまだ収束のめどは立たず、故郷を離れ避難生活を送る住人も10万人とされています。この国難とも言える大震災を経験して改めて思うことは、自然の巨大なエネルギーの前の私達人間の無力さと同時に、そうした中でも先人の知恵を引き継ぎつつ、現代の英知を最大限投入して自然災害のリスクを可能な限り低減させていく努力も積み重ねていく必要があるということです。

二点目は雇用対策です。言うまでもなく雇用対策は私たちの最重要課題です。長期デフレ不況による雇用と生活の不安を一刻も早く克服することが、全ての勤労者の願いです。完全失業率が4%を超える高止まりで推移し、リストラや倒産などによる非自発的失業者はいまだ100万人を超えています。また、長引く雇用危機は、中高年の自殺者や貧困のさらなる拡大など、大きな社会不安となっています。

労働は人間の尊厳に関わる問題であり、「雇用の安定なくして真の社会発展がない」ことは言うまでもありません。このような状況を放置すれば日本の将来は危ういものになります。連合埼玉は、雇用の安定と安心して働くことのできる環境づくりを進めるため、新卒者のみならず既卒者に対して埼玉労働局・県・経営者団体・企業と連携し、埼玉県内の雇用改善に向けた取り組みを強化していきたいと思っています。

三点目は、地域協議会の強化と地域事務所の活性化です。12の地域協議会では、各地域の労組役員の人財とパワーで、地域に根ざした顔の見える運動をめざしています。「地協ブロック連絡会」や「地協議長事務局長会議」を通して地協間の連携やパワーアップ、あるいは地協と構成組織の連携に向けて論議を深めていきたいと考えています。また、各地協にはできる限り多くの産別・単組が参画していただきたいと思っています。地協活動は人材交流と人材育成の場でもあります。個々の役員が企業内では味わえない経験を積み、大いに刺激を受けてほしいと思います。そのことが、労働運動の強化につながります。各構成組織・各単組の協力を改めてお願いしたいと思います。

一方、地域事務所については、目標であった県内4ブロックに

設置する事が出来ました。先行設置していた「ネット21久喜」と「ネット21川越」の運営状況を踏まえ、今年2月にオープンした「ネット21熊谷」と11月2日に開設した「ネット21大宮」の充実に取り組めます。労働相談や非正規労働者の支援、労働金庫・全労済・生協との連携によるライフサポートセンター機能、そしてNPOとの連携のためのステーションとしての機能を充実させたいと思います。4事務所の強化を進めると共に、地協活動のバックアップ機能をどう果たすのかも議論していきたいと思っています。

四点目は、来る国政選挙への対応です。先週14日の党首討論で野田首相は、赤字国債発行と社会保障改革国民会議の設置、選挙制度改革法案の3点の合意を前提に、11月16日に衆議院を解散し、12月4日公示、16日投開票で総選挙を実施するとなりました。これを受けて、連合と民主党はあらゆる人が排除されない「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて、11月15日に「国政選挙に向けた政策協定」を調印しました。働くことを軸とする安心社会の構築には、言うまでもなく政治のリーダーシップが何よりも求められます。

五点目は、人材育成についてです。人材育成というのは、これをやったから人が育つというような簡単なことではありません。あらゆる組織が「人材育成」を標榜し、試行錯誤を繰り返していると思います。各組織の手法は千差万別で、ある意味とても難しい課題であり、かつ必ずそれを進めなければ組織が弱体化する課題でもあるのです。

私たち連合の使命は、自分たちの地位向上や労働条件の改善のみならず、会社の外にある社会的課題にきちんと対応していくことです。そのために、連合埼玉は二つの観点から人材育成を進めていきたいと考えています。一つは学習による人材育成です。今年9月から「労組役員教育プログラム」をスタートしました。労働法の研修や、労使協議会の進め方、職場討議の進め方、メンタルヘルスなど、労働組合役員として学ぶべきものを俯瞰した体系だったプログラムを策定しました。二つめが人材交流による人材育成です。連合埼玉には多種多様な業種が集まっています。仕事の進め方も違えば、ものの見方も違います。会社規模も様々です。そんな仲間と大いに交流して、外の風を浴び、刺激を受けてほしいと思います。連合運動を通しての他との交流は、企業内にとどまっていたのでは決して出来ない貴重な体験になると思います。

最後の六点目は組織拡大です。連合は2020年までに1000万連合を目指しています。連合埼玉でも昨年の大会で20万連合埼玉を目指すことを決定しました。2013年度は、まず各構成組織と意識あわせをしていきます。そして具体的な拡大策を検討し、目標達成したいと思います。各構成組織、単組の皆様のご協力をお願いします。



～男女平等参画トップ宣言～

ユニオン連合埼玉は、性別による固定的な役割分担意識の払拭と男女が共に家事・育児・介護等の家庭生活を分担できる男女平等参画社会の実現に取り組めます。

ユニオン連合埼玉執行委員長 鶴谷 一仁

第18回 地方委員会フォト

The 18th local committee photograph

来賓挨拶



埼玉県 塩川修副知事



全労済埼玉県本部 片山修三本部長



埼玉労働局 安藤よし子局長



埼玉県経営者協会 西村和義会長



民主党埼玉県連 山根隆治代表



連合埼玉推薦議員 畠山稔議長



連合埼玉を代表し挨拶をする小林直哉会長



挨拶をする連合古賀伸明会長



議長団 相坂恒夫代議員(電機連合) 書記 渋谷大輔さん(青年委員会)
夏川由美子代議員(UAゼンセン埼玉) 吉川和美さん(女性委員会)



「ネット21運動」NPO応援・物品助成贈呈式



衆参選挙必勝決議(案) 山下弘之副会長



地方委員会アピール(案) 井上尚子特別執行委員



団結ガンバロー



根本英夫執行委員長

新規加盟組織紹介 全国自動車交通労働組合埼玉地方連合会 (略称:全自交埼玉地連)

代表者 執行委員長 根本英夫
住 所 さいたま市北区今羽町69-16
組織人員 150名
加盟形態 正式加盟
加盟届出日 2012年6月27日



～男女平等参画トップ宣言～

化学産業労組連絡会では男女平等参画を実現するために、まず、「意識改革」を実行します。「意識改革」を行なうことで、全組合員と課題を共有し、ともに解決にあたります。男性・女性を問わず積極的に組合活動に参画できる環境、働き続けることの出来る環境づくりに邁進します。

化学産業労組連絡会 執行委員長 茂木 俊輔

退任役員の紹介

- ①在任期間
- ②産別・単組
- ③ひとこと

前副会長 関口 信之輔(せきぐち しんのすけ)

- ①2010年11月～ 2年
- ②自動車総連本田技研労働組合
- ③第18回地方委員会を持って副会長を退任することになりました。この地方連合活動が結果的に私自身の組合役員16年の締め括りとなりましたが、産別の枠を超えて多くの方とともに活動させていただき、多くのことを経験し学ばせていただきました。2年間で短い期間でしたが、連合埼玉の皆さんに、ご指導ご鞭撻いただき心より感謝申し上げます。地方連合を取り巻く環境は引き続き大変厳しい状況ですが、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて、連合埼玉構成組織、地域協議会が横断的に連携しつつ、それぞれの責任と役割を果たし、連合埼玉全体で強力な運動を展開し、大きな成果が上がることを祈念いたします。



前執行委員 鈴木 満(すずき みつる)

- ①2010年11月～ 2年
- ②自動車総連UDトラック労働組合
- ③2年前に執行委員の職務に就かせていただいた以来、産別の枠を超え、広い分野での労働運動を経験させていただき、話し合い、そして理解しあうことの大切さを改めて認識致しました。この貴重な経験を今後の業務に活かしつつ、連合埼玉の更なる飛躍、20万連合埼玉の実現を応援しております。ありがとうございました。



前執行委員 横田 行秀(よこた ゆきひで)

- ①2007年10月～ 5年
- ②埼玉県私鉄東武バス労働組合
- ③5年間執行委員として職務を十分に果たすことが出来ず、また執行委員会にもあまり出席できず大変ご迷惑をお掛けいたしました。低迷が予想される政治・経済情勢ですが、連合に集う組合員そして非正規社員の拠り所として、ますます運動、活動の取り組みを祈願し、お世話になりましたことに感謝申し上げます。退任の挨拶とします。



前執行委員 斉藤 幸久(さいとう ゆきひさ)

- ①2011年11月～ 1年
- ②UIゼンセン同盟花菱縫製労働組合
- ③残念ながら諸事情で、一年間という短い時間で退任する事となりました。中途半端な活動しか出来ず本当にご迷惑をお掛けしました。組合役員を引退するわけではないので、どこかでお会いする事もあると思います。その時はよろしくお願い致します。



前執行委員 鈴木 昭二(すずき しょうじ)

- ①2005年11月～ 7年
- ②全日本運輸産業労働組合埼玉県連合会
全日通労働組合埼玉支部
- ③2005年11月21日、第9回定期大会において、執行委員に拝命され今日まで7年間(2,562日間)、産別の枠を超えた国民運動に他産別の役員の皆さんと携われたことは自分自身にとって、また産別運動にとって大変価値あるものとなりました。今後は、この貴重な経験を産別組織の中で活かして行きたいと思います。長い間大変お世話になり、ありがとうございました。



前執行委員 井上 聡(いのうえ さとし)

- ①2011年11月～ 1年間
- ②JEC埼玉地方連絡会
富士フィルム労働組合
- ③1年間のみの活動となりましたが、人脈と知識が増えた事を嬉しく感じております。私自身、産別や単組の役員から離れる訳ではありませんので、連合埼玉の役員の皆様や組合員の皆様とは、いろいろな場でお逢いできると思います。埼玉県に居る時間が極端に減りそうですが、埼玉晶屋は変わりません。今後も連合埼玉の活動が益々活発であることを祈っております。短い間でしたが小林会長をはじめ、お世話になった役員の皆様、ありがとうございました。



前執行委員 横山 薫(よこやま かおる)

- ①1995年12月～ 17年
- ②自治労
埼玉県市町村職員共済組合職員労働組合
- ③女性委員会から始まった連合埼玉での活動は、各産別の方との出会い、海外派遣、ミーデーでの司会など単組では経験できないことの連続でした。皆さまの温かいご支援のおかげにより経験未熟な自分を組合役員として、また一人の人間として成長させていただくことができました。皆さまに心から感謝申し上げます。長い間ありがとうございました。



前会計監査 佐々木 堅二郎(ささき けんじろう)

- ①2011年11月～ 1年
- ②サービス・流通連合
高島屋労働組合
- ③1年間という短い間でしたが、とても貴重な経験をさせていただきました。今後の単組での活動に活かしていきたいと思っております。ありがとうございました。



～男女平等参画トップ宣言～

性別・年齢にとらわれず、お互いを尊重し合い、個々の能力が十分に発揮出来る職場環境づくりを目指します。

建設埼玉 中央執行委員長 吉田 三男

新任役員の紹介

- ①産別・単組
- ②血液型
- ③住所
- ④好きな言葉
- ⑤抱負

【副会長】

近藤 嘉(こんどう ただし)

- ①自動車総連本田技研労働組合
- ②AB型
- ③所沢市
- ④全力投球
- ⑤連合埼玉を構成する産別・単組の皆さんと共に、働く者の立場から課題解決に向け、全力で活動に取り組んでいきます。宜しくお願い致します。



【執行委員】

山崎 泰宏(やまざき やすひろ)

- ①自動車総連
UDトラック労働組合
- ②B型
- ③伊奈町
- ④温故知新
- ⑤将来を担う子ども達やこれまで頑張ってきたお年寄りが安全・安心に暮らせる社会づくりは、私達、現役の労働者が中心となっていかなければならないと痛感しています。微力ではありますが職責を全うできるよう頑張ります。



【執行委員】

間中 範幸(まなか のりゆき)

- ①埼玉県私鉄労働組合
東武バス労働組合
- ②O型
- ③羽生市
- ④艱難汝を玉にす
- ⑤産別代表として労働運動前進のため、精一杯つとめます。



【執行委員】

小濱 真樹(こはま まさき)

- ①JEC連合
富士フィルム労働組合
- ②AB型
- ③朝霞市
- ④継続は力なり
- ⑤今年度、連合埼玉・執行委員という重責を担わせていただくこととなり、身の引き締まる思いです。微力ではございますが、連合埼玉の活動を盛り上げるよう努力いたしますので、よろしくお願いいたします。



【執行委員】

牧野 智一(まきの ともかず)

- ①全日本運輸産業労働組合埼玉県連合会
武蔵貨物自動車労働組合
- ②B型
- ③川越市
- ④泰然自若
- ⑤過剰な規制緩和の撤廃に向けた政策制度の改善と、労働者の社会的地位向上を連合と言う組織の中で共に歩み、新たな時代に対応できる、組織作りを邁進して行きたいと思っています。



【執行委員】

上杉 裕子(うえすぎ ゆうこ)

- ①電機連合沖電気工業労働組合
- ②O型
- ③柏市
- ④希望
- ⑤これまで特別執行委員として、連合埼玉の運動に参加させていただき、さまざまな人との関わりの中で多くのことを学ぶことができたと感じています。自分が取り組んできた労働運動の意味や目的をあらためて再確認し、これまでの経験を活かし、多くの人から共感を得られるような活動をしていきたいと思っています。



【会計監査】

佐藤 正治(さとう まさはる)

- ①印刷労連関東北部地方協議会
凸版印刷労働組合TCP支部
- ②O型
- ③板橋区
- ④お互いさま
- ⑤“絆”や“助け合い”、“支えあい”など、共同体としての言葉が社会に広がりを見せています。しかし、それを実践することは簡単ではありません。だからこそ、その先頭に立つ道しるべが必要であり、その役割を果たせるのが労働組合だと思います。地域に根ざした労働運動のため、微力ながら努力してまいります。



第46回衆議院選挙連合埼玉推薦候補者

第1区

民主党

たけまさ公一

(4期) (51才)



さいたま市見沼区・浦和区・緑区
岩槻区

第2区

民主党

石田勝之

(4期) (57才)



川口市

第3区

民主党

細川律夫

(7期) (69才)



草加市・越谷市

第4区

民主党

神風ひでお

(3期) (51才)



朝霞市・志木市・和光市・新座市

第5区

民主党

えだの幸男

(6期) (48才)



さいたま市西区・北区・大宮区・
中央区

第6区

民主党

大島あつし

(4期) (55才)



鴻巣市(旧川里町域除く)・
上尾市・桶川市・北本市・
北足立郡伊奈町

第7区

民主党

島田ちやこ

(新) (50才)



川越市・富士見市・ふじみ野市
(旧上福岡市域)

第8区

民主党

おのづか勝俊

(1期) (40才)



所沢市・
ふじみ野市(旧大井町域)・
入間郡三芳町

第9区

民主党

いがらし文彦

(4期) (64才)



飯能市・狭山市・入間市・日高市
入間郡毛呂山町・越生町

第12区

民主党

本多平直

(2期) (48才)



熊谷市(旧江南町域除く)・
行田市・加須市・羽生市・鴻巣市
(旧川里町域)

第13区

民主党

もりおか洋一郎

(1期) (37才)



春日部市(旧庄和町域除く)・
久喜市(旧久喜市域、旧菖蒲町域)・
蓮田市・白岡市・南埼玉郡宮代町

第14区

民主党

中野 譲

(2期) (45才)



八潮市・三郷市・幸手市・吉川市・
春日部市(旧庄和町域)・久喜市
(旧鷲宮町域、旧栗橋町域)・
北葛飾郡杉戸町・松伏町

第15区

民主党

高山さとし

(3期) (42才)



さいたま市桜区・南区・蕨市
戸田市

比 例 区
は
民 主 党

投票日

12月16日(日)

地協ブロック連絡会、市長・首長政策懇談会開催



西部ブロック(川越東武ホテル)



南部ブロック(ときわ会館)



北部ブロック(グランドホテル本庄)



東部ブロック(三高サロン)

10月18日(西部ブロック)、19日(南部ブロック)、23日(北部ブロック)、24日(東部ブロック)の日程で「地協ブロック連絡会」と「市長・町長政策懇談会」を開催した。

各ブロック連絡会では、連合埼玉小林会長をはじめ、各ブロック担当副会長・執行委員、地協四役により、①2013年度活動計画(案)、②2012年度政策制度要請(地協統一)、国政選挙について説明をした後、各地協での政策要請の取り組みや地協活動報告、地協における国会議員との連携の有無などについて意見交換を行った。

引き続き開催した「市長・町長政策懇談会」では、より多くの市町における政策制度要請の実現に向け推薦首長だけでなく、地協と連携ある首長にも参加をいただき、①2012年度連合埼玉政策制度要請、②地方行政に関わる課題等について意見交換を行った。意見交換では、各行政における現状の課題や要請内容についての考え方などが報告された。

= も う す ぐ 選 挙 =

川越市長選挙

◆川合 善明(かわい よしあき) 61才(無所属・現1・連合埼玉推薦初)

告示日:2013年1月20日(日) 投票日:2012年1月27日(日)

現在予定される12月の日程表です

12月		行事等	
		連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日	土		
2日	日		
3日	月		
4日	火		第4回地方連合会代表者会議(14:00～・連合会館)
5日	水	ネット21運営委員会(10:00～12:00・連合埼玉会議室)	連合第64回中央委員会(10:00～・ホテル日航東京)
6日	木		埼玉地方労働審議会(9:30～・ホテルプリランテ武蔵野)
7日	金	女性委員会「第24回定期総会」(13:30～・さいたま共済会館)	埼玉労福協企画委員会(10:00～・ときわ会館)
8日	土		
9日	日		
10日	月		
11日	火	第1回四役・執行委員会(ときわ会館)	
12日	水		東部地域協議会委員会(18:30～・アクシス春日部)
13日	木		埼玉労福協理事会(15:00～・ときわ会館)
14日	金		①連合関東ブロック「女性代表者会議」(14:00～・ホテルラングウット) ②連合関東ブロック「第23回定期総会」(16:00～・ホテルラングウット)
15日	土	ネット21「インターンシップ報告会」(10:00～・あけぼのビル502)	
16日	日		
17日	月	政治学習会(13:30～17:00・ときわ会館)	
18日	火		
19日	水		地方連合会政策担当者会議(13:30～・日本教育会館)
20日	木		川口・戸田・蕨地域協議会「第3回定期総会」(18:00～・川口労働会館)
21日	金		県央地域協議会幹事会(18:30～・ネット21大宮)
22日	土		
23日	日		
24日	月		
25日	火		
26日	水		
27日	木		
28日	金	年末年始休暇 12月29日～1月4日迄	
29日	土		
30日	日		
31日	月		

あけぼのビル

事務局長 佐藤 道明

◆2013年度活動のスタートにあたって

連合埼玉は第18回地方委員会を11月21日に開催し、2013年度活動計画を確認した。2013年度活動計画は、昨年11月に開催した第12回定期大会で確認された2012～2013年度運動方針を補強するものであり、運動方針に掲げた東日本大震災からの復興・再生と「働くことを軸とする安心社会」の実現、そのために組織拡大や人材育成を強力に進めていくことに変わりはない。今回のあけぼのビルでは、2013年度の活動をスタートするにあたり所信を述べたいと思う。

1つ目は政策制度の取り組みである。

労働と生活の質的向上をはじめ、人と人とが信頼でつながる地域社会づくりを推進するため、人間尊重・生活重視を基本に、環境保全や地域経済の活性化など、働く者の視点に立った政策制度要求とその実現力の強化に取り組む。

2つ目は雇用・労働に関する取り組みである。

2013春季生活闘争は連合の方針を踏まえ、地方連合会の役割である中小・地場組合、未組織労働者の支援と世論喚起に取り組み、職場で共に働く非正規の仲間の処遇改善にも、しっかりと取り組んでいきたい。

また、新卒者の就職支援に加え、高齢者雇用についても県や労働局と連携し取り組みを進める。さらにはディーセント・ワークの実現に向けた取り組みを新たに運動課題に加えた。ディーセント・ワークの取り組みの原点は、「働くこと・生活すること」であり、安全衛生への対応やメンタルヘルス対策などの強化とあわせて職場を見つめ直し、労働者と企業にとってよりよい施策を検討したい。

3つ目は組織の強化および拡大である。

「働くことを軸とする安心社会」を社会全体で共有できるよう合意形成をめざす運動を進める。そして、何と言っても組織拡大の取り組みである。社会的インフラとしての労働組合づくりと集団的労使関係を構築するためにも、連合が2020年までの達成目標として掲げた「1000万連合」の実現に向け、連合埼玉も「20万連合埼玉」の実現に向けた取り組みを進める。そのためには構成組織との意思あわせが必要であり、できるだけ早い時期に各構成組織との意見交換を実施する。

また、持続可能な社会の構築には、労働組合と労働運動が不可欠であり、常に労働組合の担い手の人材育成に取り組まなければならない。連合埼玉独自の人材育成・労働教育として準備を進めてきた「組合役員教育プログラム」は、

2012年度に基礎講座をスタートすることができた。2013年度は基礎講座の充実と実務講座の準備に取り組み、リーダーのスキルアップと育成支援を進める。

4つ目は広報宣伝活動である。

連合の認知度を高め、求心力の向上をめざす取り組みとして広報宣伝活動は重要である。組合員はもとより、広く県民にもアピールするために、マスコミへの情報発信や街頭宣伝活動にも力を注ぎ、様々な広報媒体を積極的に活用したタイムリーな情報提供に取り組む。

5つ目は男女平等参画社会構築に向けた取り組みである。

労働組合の活動において、なかなか進まない活動の1つに男女平等参画があげられる。男女平等参画社会の構築に向け、職場・地域のみならず労働組合の活動に男女平等参画の施策が、しっかりと組み込まれるように取り組みを進めたい。

6つ目は政治活動である。

すべての働く人の生活安定および社会的公正を実現するために、引き続き民主党を支援し、来たる第46回衆議院選挙ならびに第23回参議院選挙における推薦候補者の必勝を期す。特に参議院比例代表選挙では連合組織内候補9名の当選に向け、候補者個人名での投票の徹底に取り組む。

7つ目は平和運動・連帯活動の取り組みである。

連合の平和運動である「沖縄・広島・長崎・根室集会」に積極的に参加するとともに、平和の尊さや戦争の悲惨さを風化させることなく次代に継承する取り組みとして、2012年度に実施した連合埼玉主催による「平和の集い」を継続的に開催するために、改めて開催方法や内容について検討する。また、連帯活動に関わる活動が拡大している昨今、多様な立場の人を包摂する運動と組織の形成に向け取り組む。

さらには労働組合の社会的責任として、東日本大震災からの復興・再生に取り組む。特に県内に避難されている方々の生活再建の支援として、連合埼玉の諸活動をつうじて組合員の皆さんからお預かりしている支援金を活用し、介護事業者と連携した「ホームヘルパー2級養成講座」を開講し、資格取得と雇用の場を提供する。

連合がめざす「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて、政党・議員・経営者団体・NPOをはじめ、広く社会に問題提起をしていく必要がある。連合埼玉、構成組織、地域協議会が横断的に連携しつつ、それぞれの責任と役割を果たし、スピード感を持って、連合埼玉全体で強力な運動を展開していくことが重要となる。事務局として前年の運動より一歩でも前進できる運動の展開を意識して取り組みたい。引き続きの協力をお願いする。

2012.11.22